

株式会社グリーンパワーインベストメントの（仮称）平木阿波ウインドファーム事業に係る環境影響評価方法書に対する意見書

関係機関名：伊賀市

番号	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風力発電事業は再生可能エネルギーを活用するものであり、方法書においても事業の意義について述べられているが、大規模な山林の開発を行い自然環境に影響を与えるものでもある。また、本地域に風力発電設備が集中することで、自然環境への影響が増大することが懸念される。これらのことから、本地域で風力発電事業を行うことの必要性について、再度考えを示すこと。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地域近傍には既設の風力発電設備が存在し、また他の風力発電事業が計画されている。風力発電設備が多数周囲に存在することによる心理的な圧迫感、騒音・振動、水環境等についての累積的な影響、工期が重なることによる交通量の増加等が予想される。これらのことについても考慮し、影響を極力回避・低減すること。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事中は工事用資材等の搬出入を行う車両などの工事関係車両の通行量が増加することが考えられる。これら工事関係車両の通行による騒音・振動や排気ガスについて、適正な環境影響の調査、予測及び評価を行ない、走行ルートや通行時間、車種等について十分検討すること。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風車稼働による騒音及び低周波音等について、最新の知見等に基づき適正な環境影響の調査、予測及び評価を行ない、風力発電設備等の配置や機種を検討等により、騒音又は低周波音等の影響を極力回避・低減すること。累積的・複合的な影響についても考慮すること。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境について、対象事業実施区域は山地であり、造成時の一時的な濁水の発生だけでなく、造成後の地形の改変や森林の伐採、水の流れの変化等による土砂や濁水の流出及び水量の変化等が懸念される。この点を考慮し、一時的な影響だけでなく供用開始後の水環境についても適正な環境影響の調査、予測及び評価を行ない、影響を極力回避・低減すること。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風車の影について、ブレードの影が回転することにより地上に明暗が生</li> </ul>

	<p>じ、住民に不快感を与えることが懸念される。風力発電設備等の配置の検討等により、その影響を極力回避・低減すること。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該計画地内において、市管理道路、河川、法定外公共物に支障が出る場合は、事前段階より企画管理課と協議願いたい。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月2日より、「伊賀市の適正な土地利用に関する条例」が施行され、当該施設は同条例に基づく手続きが必要となることから、都市計画課開発指導室と協議願いたい。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該計画区域は地域森林計画対象森林に該当するため、農林振興課に森林法に基づく手続きを行うこと。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業地に埋蔵文化財包蔵地は含まれないが工事中、不時埋蔵文化財を発見した場合は、文化財課へ連絡の上、文化財保護について協議願いたい。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別天然記念物オオサンショウウオの生息域であるため、河川に触れる工事を行う場合は、国の許可が必要となりますので、事前に文化財課と協議願いたい。</li> </ul>